

地震防災に関する校内研修会のご案内

地震防災プロジェクト委員会

本校では、総合学科の特色を生かして自由選択科目の中に「地震列島と私たち」の授業がこの4月に開講しました。今年度は2年生2名ですが、来年度は2年生8名、3年生37名が受講予定です。系統的に学べるとともに継続して取り組むことで、卒業後も地域で防災の役割を果たす社会人の育成につながるものと、全国的にも注目されています。また、本年度は「防災教育チャレンジプラン」の実践団体（全国で20団体）として、様々な工夫をして全校的な防災教育の取り組みをすすめています。南海地震が今後30年間で発生する確率が50%と発表され、防災・減災の取り組みが喫緊の課題になっています。教職員も課業中に発生すれば、生徒の命を第一に考えた行動を取る必要がありますし、課業外でも学校が避難所になることが予想されます。このような情勢の中、防災訓練もより実践的な方法で行いますが、校内研修会も、これまでと趣向を変えて行いたいと思います。

日時：11月30日（水曜日）13：30～15：30
（終了後、学年会）

会場：本校会議室

内容： 本校および周辺の予想される自然災害について
担当：小川
防災ゲーム（クロスロードの手法を用いて）を通して、
災害時のイメージを広げよう！
担当：谷内

準備のため、大まかな参加人数を知りたいので、出欠について11月25日（金）までに、お知らせ下さい。

【クロスロードとは・・・】英語で「岐路」「分かれ道」を意味しています。

「あなたは、教職員・・・未明の大地震で、自宅は半壊状態。幸いケガはなかったが、家族は心細そうにしている。公共交通機関も止まり、道路も寸断されており自家用車も使えず、出勤には歩いて2時間が見込まれる。すぐに出勤する？」このような場合、自分がどう判断するかは、ジレンマを伴う重大な決断事項です。災害時は、このような内容が連続して起こります。災害時の対応を自らの問題と考え、また様々な意見や価値観を参加者どうしで共有することを目的に実施します。



----- 切り取り -----

出勤簿の机の上の箱に、11月25日（金）までにお入れ下さい。

地震防災に関する校内研修会に、（ ）参加できます
（ ）都合で参加できません

人数を把握するためのものですので、氏名を書く必要はありません。

高知東高校 地震防災に関する校内研修会

11月30日(水曜日) 13:30 ~ 会議室

防災ゲーム(クロスロードの手法を用いて)を通して、 災害時のイメージを広げよう!

準備物 クロスロード個人票、YES / NO カード、クロスノート、マジック
景品(アメ玉、チョコレート)

座席 各机に5人(または7人)ずつ座りましょう。
各机(グループ)で、進行係を決めましょう。

1. 「クロスロード」の目的

クロスロードは、災害対応を自らの問題として考え、またさまざまな意見や価値観を参加者同士共有することを目的としています。

「クロスロード」とは、英語で「岐路」、「分かれ道」を意味しています。災害対応は、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。現実に1995年の阪神大震災の際、神戸市職員が対応を迫られた難しい判断状況がたくさんありました。この貴重な体験を素材として、クロスロードは作成されています。

参加者は、災害対応を自らの問題としてアクティブに考えることができ、かつ、自分とは異なる意見・価値観の存在に気づくことができます。

2. 標準的なゲームの進め方

ゲームは、10枚の問題カードとイエス・ノーカード各1枚を使って行います。プレイヤー(参加者)は、1人ずつ順番に問題カードを読み上げます。カードが読み上げられるごとに、プレイヤー全員が、

Aタイプ：自分ならその状況でどうするかを考え、

Bタイプ：他の人たちはどれを選ぶか、多数派を予測して、

イエスカードか、ノーカードか、どちらかのカードを選びます。選んだカードを裏向けて、自分の前に置きます。全員がカードをおいたら、一斉にカードを表に向けます。多数派の意見だったプレイヤーが、得点を表す青い座布団を手に入れることができます。10枚すべて読み終わった時点で、もっとも多くの座布団をもっている人が「勝ち」となります。ただし、このゲームの目的は「勝ち負け」を決めることよりも、むしろ、ゲームを通して、災害対応について学ぶことにあります。

3. 今回のゲームの進め方

問題を読み上げる

全員が自分の意見を決める

一斉に「イエスカード」か「ノーカード」を机の上に出す

グループごとに多数派の意見だった人は、全員、アメ玉をもらう。

ただし、一人だけ異なる意見の場合は、多数派でもアメ玉はもらえず、一人がチョコレートをもらる。

(アメ) 3 - 2 (無) (無) 4 - 1 (チョコレート) (無) 5 - 0 (無)

次の問題に進み、この作業を繰り返す。

4 . 各グループでの話し合い (進行係の出番です)

指定された問題について、「クロスノート」(模造紙)に、グループで話し合ったことマジックで記入していきます。

- ・「イエスの問題点」「ノーの問題点」
- ・判断のポイント
- ・事前にして(考えて)おくべき事

「クロスノート」が完成したら、他のそれぞれの問題についても、グループで話し合います。(メモ欄を使って、メモを取ります)

- ・ どうして自分がその答えを選んだのか？
- ・ それぞれの問題について、
 - ・ 「イエスの問題点」「ノーの問題点」
 - ・ 判断のポイント
 - ・ 事前にして(考えて)おくべき事

5 . グループごとに発表

他のグループ・個人で、他に意見があれば、発表してもらえます。

6 . まとめ

7 . 各グループで、問題を作成して終了

- ・ 地震防災に限らず、学校の仕事の中で起こるジレンマでも構いません。
(みんなは、どんなジレンマを持って仕事をしているのでしょうか?)

8 . アンケートに記入して、お帰り下さい。お疲れ様でした。

参考文献

クロスロードへの招待 防災ゲームで学ぶ、リスク・コミュニケーション
矢守克也・吉川肇子・網代 剛 / 著

()班 構成メンバー

提出用

あなたは・・・

Yes ()の問題点

No ()の問題点

判断のポイントは？

事前にしておくべき事は？

()班 構成メンバー:

2005.11.30 高知東高校 防災研修会

No	あなたは	ジレンマ	あなたの答え	YES	NO	メモ(あなたがそう考えた理由・他の人の意見など)
			グループでは	名	名	
1	教職員	未明の大地震で、自宅は半壊状態。幸いケガはなかったが、家族は心細そうにしている。公共交通機関も止まり、道路も寸断されており自家用車も使えず、出勤には歩いて2時間が見込まれる。すぐに出勤する？	あなたの答え	出勤する	出勤しない	
			グループでは	名	名	
2	教職員	遠足で海岸に来ている。引率は自分を含め教職員2人。地震が発生し、生徒を集合させたが、1名足りない。集まった生徒を高台に避難誘導したいが、1名をそのままにする？	あなたの答え	そのまま	見つかるまで探す	
			グループでは	名	名	
3	教職員	授業中に地震が発生。しばらくして周辺が浸水して学校は孤立状態。しばらく食料の供給も見込めない。たまたま、昼食用にロッカーにカップラーメンを5食分置いていた。みんなに提供する？	あなたの答え	提供する	提供しない	
			グループでは	名	名	
4	避難所担当	被災から数時間。避難所には1000名が避難している。しかし、現時点で確保できた食料は700食。以降の見通しは、今のところない。まず、700食を配る？	あなたの答え	配る	配らない	
			グループでは	名	名	
5	教職員	自宅で被災したが、自分も家族も大きなケガはなかったので職場に向かう。避難所の大切な係の責任者でもあり、生徒の情報収集も行わなければならない。途中で人が生き埋めになっているのを発見。学校の仕事も気になるが、まずは、目の前の人を助ける？	あなたの答え	助ける	仕事優先	
			グループでは	名	名	
6	避難所担当	現在、避難所となった体育館にいる。館内では毛布が不足気味。折よく、テレビニュースの取材班が来ていた。テレビを通して、毛布の提供を呼びかける？	あなたの答え	呼びかける	呼びかけない	
			グループでは	名	名	
7	援助物資担当者	援助物資の古着が大量に余ってしまった。でも、校内には保管する場所はない。倉庫を借りるにも費用がかかる。いっそう焼いてしまう？	あなたの答え	焼く	焼かない	
			グループでは	名	名	
8	海辺の住民	地震による津波が最短10分てくる地域に住んでいる。今、地震が発生。幸い自分も家族もけがは無く、早速高台に避難をはじめが、近所の一人暮らしのおばあさんが気になる。まず、おばあさんを見に行く？	あなたの答え	見に行く	見に行かない	
			グループでは	名	名	
9	住民	あなたの住む家は築30年、家族4人。専門家の耐震診断を受けたら、予想される南海地震の震度6強の揺れでは倒壊する危険ありとの結果。耐震補強のためには約200万円が必要。子どもの学費の支払いもあり、ローンを組まないとしても払えない。耐震補強工事をする？	あなたの答え	工事をする	工事をしない	
			グループでは	名	名	
10	親	「安全」との診断がありた避難所暮らしは、余震が続いてはいるが安心だ。しかし、このところの寒さで風邪が流行している。幼い我が子にうつるのではと心配。避難所を出て半壊状態の我が家に帰る？	あなたの答え	帰る	帰らない	
			グループでは	名	名	

アンケート用紙

1. 今日の研修会は有意義でしたか？

- 有意義であった
- どちらかと言えば有意義であった
- どちらかと言えば有意義でなかった
- 有意義でなかった

2. クロスロードをやってみて、多様な意見があると感じましたか？

- 感じた
- どちらかと言えば感じた
- どちらかと言えば感じなかった
- 感じなかった

3. ゲーム時とゲーム後のグループ討議で自分の意見が変わった問題がありましたか？

- ない
- あった その問題番号を書いて下さい。()

4. クロスロードを、LHRなどで本校の生徒に行うことについて、どう思いますか？

- 可能だと思う
- 工夫すれば可能だと思う
- 少し無理だと思う
- 全く無理だと思う

5. 学校の防災について、日頃思っていること、こんな事をしてほしい、ここが危ないなど、自由に書いて下さい。

6. 今日の研修の率直な感想をお書き下さい。

お疲れ様でした！

高知東高校 地震防災に関する校内研修会

アンケート集計結果

記入文は、趣旨を変えない範囲で修正してあります。

1. 今日の研修会は有意義でしたか？

有意義であった	40名(95.2%)
どちらかと言えば有意義であった	2名(4.8%)
どちらかと言えば有意義でなかった	0名(0%)
有意義でなかった	0名(0%)

2. クロスロードをやってみて、多様な意見があると感じましたか？

感じた	33名(78.6%)
どちらかと言えば感じた	9名(21.4%)
どちらかと言えば感じなかった	0名(0%)
感じなかった	0名(0%)

3. ゲーム時とゲーム後のグループ討議で自分の意見が変わった問題がありましたか？

ない	34名(81.0%)
あった	8名(19.0%)
その問題番号を書いて下さい。	番号2・・・1名
	番号4・・・3名
	番号8・・・1名
	番号1と10・・・1名
	無回答他・・・2名

4. クロスロードを、LHRなどで本校の生徒に行うことについて、どう思いますか？

可能だと思う	20名(47.6%)
工夫すれば可能だと思う	19名(45.2%)
少し無理だと思う	2名(4.8%)
全く無理だと思う	0名(0%)
or	1名(2.4%)

5. 学校の防災について、日頃思っていること、こんな事をしてほしい、ここが危ないなど、自由に書いて下さい。

- ・学校が非常食を確保できないか？
- ・昼間（生徒が学校にいる時）に地震があり、生徒が帰れなくなった場合のために、食料の備えが必要ではないか。
- ・飲み水、トイレの水の確保をどうするか。
- ・事前の備えは大切でしょう。「食糧（非常食・水）のこと、機材（ラジオ・電池・電灯など）のこと」
- ・ポートは常備できませんか？
- ・学校が避難所になっていると思いますが、十分な物資が備わっているでしょうか？（課行中はどうする？）
- ・学校が避難所になっているが、教職員で何が出来るか不安である。災害用の組織作りができていないのか、何も知らないのが怖い。
- ・どのように避難するかなど、事前にマニュアルを作成して欲しい。（マニュアルがないと、いざというとき動けない）
- ・東高校の教員として、勤務中に対処すべき事や係の担当が決まっていけないこと！！（リーダーが必要だと思う。命令系統とか・・・）
- ・学校にいるときに起こったら、まずどうすればいいのかが知りたかったので、次の地震の避難訓練を期待しています。
- ・具体的な地震避難プログラムを作成し、それに基づいた避難訓練が必要だと思われる。

- ・避難所となった場合の、教員の24時間のローテーションをどうするか。
- ・理科室の安全対策。化学室は薬品だらけです。
- ・震度6・7の揺れを体験してみたい。(100秒の揺れ時間で)
- ・図書室の棚も何とかしなくてはいけない。
- ・ベッドのストッパーがきかない。通常の乗り降りでも動く。
- ・棚が2段になっているので、すべて倒れる。
- ・耐震が心配。以前いた人が鉄骨が少ないと言っていた。
- ・水害について心配。
- ・建て直して欲しい。30年後が心配です。
- ・避難所としての機能。
- ・生徒の身勝手な行動が止まるかどうか。
- ・周辺の道路が狭い。
- ・ケースバイケースなので、想定外の事が起こる可能性も大きいと思います。その時に、後で後悔することが少しでも少なくなるように、決定したいと思います。

6. 今日の研修の率直な感想をお書き下さい。

- ・みんなの様々な意見が聞けた。
- ・自分一人では考えつかないようなことを聞いて、とても勉強になりました。
- ・いろいろな意見が聞いて良かった。その場面の判断材料を考えることができた。
- ・普段、接点のない先生方と意見を交換しあえたので、有価値的でした。
- ・とても楽しく、楽しいだけでなく、勉強になった。先生方の色々な意見を知ることができた。
- ・参加型で、大変おもしろかった。
- ・おもしろかった。
- ・とてもよかった。準備などご苦労様でした。
- ・よい機会になった。
- ・楽しく学べた。
- ・また応用例を考えて実施して下さい。
- ・いつもと違う形の研修が良かったです。
- ・考えが深まり、有意義な研修となりました。
- ・色々な観点から考えさせられた。たいへんよかった。
- ・自分の身の回り(学校でも、家でも)について、もう一度考えてみようと思いました。
- ・今後役に立つよい研修だと思いました。
- ・参考になった。
- ・とても参考になりました。
- ・大変ためになったと思う。
- ・参加して考えるというのは、話を聞く形に比べて、とても良い形式でした。
- ・積極的に参加できて、考える機会を与えるきっかけとなった。人によっては考え方(想定の仕事)を学ぶことにもなったのではないかな。
- ・いい研修会だった。必ずくる地震に対して、再認識できた。
- ・防災に関する意識について、改めて考えさせられました。心と体、環境も日頃から整備しておきたいものです。
- ・あらためて地震について考えることができ、よかった。日常に追われてしっかり考えることが少ないが、これからはもっと真剣に考えねばならないと思った。
- ・たいへんよかったと思います。準備等ありがとうございました。
- ・とても良かったです。ぜひ、生徒にも問題を変えてさせてみたいです。
- ・地震が発生した場合のことを考えておく必要があると思いました。家族がバラバラの場所で被災した時、どうすればいいのか、学校から家に帰れなくなったらどうすればいいのか・・・色々考えるきっかけになりました。ありがとうございました。
- ・具体的な事案を真剣に考えることによって、防災への意識が高まりました。帰ったら家族でいろいろ話したいです。お疲れ様でした。
- ・実際災害が起これば、自分が公務員であることを忘れてしまうような気がする。自分の仕事(責任)より、家族のことを重視すると思う。